



大杉っ子

教育目標：すすんでとりくむ子 おもいやりのある子 けんこうな子

令和5年10月31日
学校便り 11月号
江戸川区立大杉小学校
校長 浅野 努



子どもの行動から学ぶこと

副校長 青木 隆

先日の日曜日、4年ぶりに「大杉まつり」が開催されました。実行委員会の皆様、町会及び協力団体の皆様、模擬店の準備、販売等をしていただいた保護者ボランティアの皆様、松江第三中学校の吹奏楽部の皆様及びボランティアの皆様ののおかげでこの日を迎えられました。また、前日の会場準備と大杉まつり終了後の片付け等、見えないところで大杉まつりを支えていただきました皆様、本当にありがとうございました。心から感謝申し上げます。

今回の大杉まつりでは、子どもたちも以下のことを頑張りました。

1年生 「はじめの言葉」

2年生 「大杉まつりポスターづくり」

3年生 「協力団体様及び来賓の名札づくり」

4年生 「ごみの分別のお手伝い」

5年生 「販売のお手伝い」

6年生 「オープニングセレモニーの演奏」「おわりの言葉」



おまつりが始まると、どの子も満面の笑みで楽しむ様子がたくさん見られました。そんな中、子どもたちが販売のお手伝いをする姿がありました。ただおまつりを楽しむだけでなく、自分たちにもできることは何かを考えて行動した姿はとても立派でした。

同様なことが、先日26日（木）の1年の公園あそびの活動でも見られました。公園に行くと、先に來ていた地域の保育園の園児たちがいました。最初、大杉小の1年生は友だちと鬼ごっこをしたり、ドングリなどの木の実を拾ったりして楽しんでいました。数分後、1年生の子どもたちが、保育園の子と砂場で一緒に遊んであげたり、園児に声をかけ、すべり台やブランコで遊んであげたりする姿がありました。とても微笑ましく、大杉まつり同様、1年生が「自分たちのできることを考えた行動」でした。

これらの子どもたちの行動を通じて、私自身も子どもから学ぶことが多いと感じ、学校の先生になったことを思い出しました。改めて、教師が教えることだけでなく、「子どもの行動から学ぶこと」の視点を持ち、日々子どもたちと接していくことの大切さを実感しました。

保護者の皆様、今月も大杉小学校の子どもたちのためにお力添えをよろしくお願いいたします。